

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社ウィザード 長野営業所)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			性別、年齢、障がい、国籍などに基づく差別を防ぐため、ダイバーシティ教育を実施し、全社員に対して意識向上を図っています。また、ダイバーシティ推進ページ（ https://wiz-t.co.jp/other/diversity/ ）を作成し、社ハラメントを防止するため、明確な社内ルールを制定し、定期的な教育を実施します。また、専用の相談窓口を設置し、問題が発生した場合には迅速かつ適切な対応をします。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7		
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本		【予定】						5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			現在、社員の9割がリモートワークを実施しており、フレキシブルな働き方を推奨しています。さらに、勤務間インターバルの確保や休養時間の設定を推進し、社員の健康維持を支援しています。専科の保養所を活用し、国籍に関わらず公平な採用と就業環境の提供に努めています。（過去に中国人社員の雇用実績有り）業務上の機会均等を確保し、多様性を尊重する企業文化のもと、安心して働ける職場づくりを進めています。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本							4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			安全で衛生的な労働環境を整備するため、職場の定期清掃や設備点検を毎月実施しています。リモートワークの活用により通勤負担を軽減し、快適な作業環境を確保。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			リモートワークの活用や業務負担の適正化を推進し、社員が無理なく働ける体制を整備。必要に応じて相談しやすい環境を提供し、心身の健康をサポートしています。また、有事の際には減給をせず、回復を待つ姿勢を取っています。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			多様な人材が活躍できる環境づくりを推進。リモートワークや柔軟な働き方を導入し、ワークライフバランスを支援。公平な評価制度を整え、社員一人ひとりの能力を最大限に発揮できる職場を目指しています。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			OJTを中心に、業務を通じた実践的なスキル習得を推奨し、個々の成長をサポートしています。また、必要に応じて外部研修の受講も可能とし、社員のキャリア形成を支援しています。				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			雇用形態に関わらず、公正な待遇を確保するため、職務内容に応じた適正な給与体系を整備。定期的な面談を実施し、評価基準の共有を実施しています。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ						3						8								
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物の適切な管理と処理を徹底するため、分別ルールの遵守を推奨。電子データ活用によるペーパーレス化を推進し、廃棄物の発生そのものを抑制。環境負荷が低減に寄与しています。											11.6	12.4		14.1			
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			省エネ対策や再生可能エネルギーの活用状況を確認。省エネのため、電力消費データを定期的に確認。特に、本社屋上に設置した太陽光パネルの発電量をモニタリングし、再生可能エネルギーの活用状況を確認。							7.3					13					
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			本社屋上の太陽光パネルを活用し、再生可能エネルギーの導入を推進。電力使用量を定期的に確認し、温室効果ガスの排出量を減らすべく、省エネ対策をして有害化学物質を扱う業種ではありませんが、取り扱いが必要な場合は法令を遵守し、厳格な管理基準を策定。社員への適切な取り扱い指導を行い、安全確保に努めます。							7.2 7.3				12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本		【予定】				3.9			6.3					11.6	12.4					

※記載例を参照の上、ご記入ください。

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			生物多様性や生態系への影響を考慮し、環境負荷の低減に取り組んでいます。釣り部による海洋ゴミ回収活動や、夢科のグリーンアップ活動を実施し、自然環境の保全に貢献。ペーパーレス化やエネルギー削減にも努め、持続可能な社会の実現を目指しています。						6.6								15				
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			ペーパーレス化を進めることで紙資源の削減に貢献し、不要なPC機器の適切な再利用・リサイクルも実施。環境負荷の低減に努めています。										12.5		14.1						
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレン ジ			浄水型ウォーターサーバーを設置し、水の利用効率の改善に取り組んでいます。この取り組みにより、ボトル水の使用削減を目指し、環境負荷の低減を推進しています。						6.4 6.6												
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレン ジ						3.9			6	7				12	13.3	14	15				
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレン ジ														12.6							
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレン ジ			本社屋上には太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーを積極的に活用。これにより、エネルギーの効率的な利用を目指し、環境への配慮を実現しています。							7.2					13						
公 正 な 事 業 慣 行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレン ジ														12.2	13	14	15				
	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本		【予定】	汚職や贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に対してこれらの行為が不正であることを周知します。今後、社員教育や研修を通じて意識を高め、適切な業務運営を推進します。															16 16.5			
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に対して適切な競争のルールと倫理観を周知します。公正な競争を維持し、透明で信頼性の高いビジネス運営を目指します。															16			
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			知財財産の保護を重視し、社内で情報管理体制を強化します。社員に対して、特許や著作権、商標などの知的財産権に関する教育を実施し、無断使用や侵害を防止します。							8.2 8.3	9										
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			個人情報の適切な管理を徹底しており、Pマーク（プライバシーマーク）を取得しています。これにより、個人情報の取り扱いについて高い基準を遵守し、社員への教育も行い、情報漏洩の防止に努めています。															16			
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレン ジ																			16		
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレン ジ								5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	中小企業庁が推進する「パートナーシップ構築宣言」の作成を予定しており、取引先との信頼関係をさらに強化するために、今後公表を行う予定です。			3					8	9	10							17	

※記載例を参照の上、ご記入ください。

	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			提供するシステムやサービスに対して、安全性と信頼性の確認を行い、定期的な監査やテストを実施することで、顧客に安全な製品・サービスを提供しています。			3.9								12.4						
	30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			従業員に対して定期的な教育・研修を実施し、品質に関する厳格な基準を設けることで、常に高品質な製品・サービスを提供しています。また、顧客からのフィードバックを活用し、品質改善に努めています。							9									
	31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			非接触型の受付アプリを開発しており、環境配慮にもつながります。例えば、紙を使わずに訪問者を受け入れることができ、ペーパーレス化を促進します。デジタル化により省エネルギーを実現することができ、環境					6				12	13	14	15				
	32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			地域の「ものづくりグランプリ」への応募を通じて、ものづくり活動を支援し、地域経済への貢献を目指すことができます。地元企業との協力や、地域資源を活用した製品開発などを推進することも可能です。				4				9		11	12		14	15		17	
	34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			社会貢献活動として児童養護施設への寄付を行っています。これにより、社会的責任を果たし、地域との連携を深めることを目指しています。				4					11			14	15		17	
	35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ											8	9		11	12	13			
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本			経営理念や経営目標を社内でも共有し、全社員がその達成に向けて一致団結して取り組んでいます。定期的なミーティングや社内掲示を通じて、経営方針や目標を伝え、社員一人一人の意識を高めています。								8	9							17	
	37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			法令遵守の体制として、Pマークの取得と維持を徹底しています。具体的には、個人情報保護に関する法令遵守を確認するため、社員に対して定期的なテストを実施し、その結果を提出してもらっています。														16		
	38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			企業活動が社会や環境に与える影響に対応するために広報部を設置しています。この部門は、各地のSDGsへの取り組みを研究し、関連するネットワークへの加入など、積極的な活動を行っています。														16		
	39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			株式会社ウィザードでは、「消費者志向自主宣言」を掲げ、それを守ることを徹底しています。この宣言により、消費者や他のステークホルダーとの対話を大切にしています。														16	17	
	40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																		16	
	41	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			株式会社ウィザードは、CSR（企業の社会的責任）の一環として、環境保護活動に積極的に取り組んでいます。蓼科や葉山でのクリーンアップ活動を行い、地域環境の保全に貢献しています。また、地域社会への寄与や災害などの事業継続に備えて、リモートワーク体制を整備しています。これにより、万が一の事態においても業務が継続できる環境を確保し、社員が安全に働ける体制を構築しています。														16		
	42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ												9		11		13 13.1		16	
	43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ											8	9							17

※記載例を参照の上、ご記入ください。

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定